

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 22 日 (2015.1.22)

【公開番号】特開 2013-123582 (P2013-123582A)

【公開日】平成 25 年 6 月 24 日 (2013.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2013-033

【出願番号】特願 2011-274855 (P2011-274855)

【国際特許分類】

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 3 日 (2014.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 3】

具体的には、超音波ボリュームデータ 6 1 中の 3 点 A、B、C と、生体構造ボリュームデータ 6 2 中の点 A'、B'、C' を対応する同一点として設定し、超音波ボリュームデータ 6 1 中の 2 点、例えば A、B を超音波画像側基準点とし、生体構造ボリュームデータ 6 2 中の点 A'、B' を対応する生体構造画像側基準点とした場合、超音波ボリュームデータ 6 1 中の点 C が超音波画像側参照点、生体構造ボリュームデータ 6 2 中の点 C' が生体構造画像側参照点となる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 8】

参照断面 1 4 0 上で、参照ライン 1 4 3 a ~ 1 4 3 g を設定すると、超音波画像構成部 4 f は、超音波ボリュームデータ記憶部 4 e に記憶された超音波ボリュームデータに基づいて、参照ライン 1 4 3 a ~ 1 4 3 g を含む参照断面 1 4 0 に直交する超音波断層画像 1 4 1 a ~ 1 4 1 g を表示画面内に並べて表示する。また、生体構造画像構成部 4 m は、参照画像 1 4 0 と同一断面の生体構造断層画像 1 4 2 を構成し、参照ライン 1 4 3 a ~ 1 4 3 g を含む参照断面 1 4 0 に直交する生体構造断層画像 1 4 2 a ~ 1 4 2 g を生成し、超音波断層画像 1 4 1 a ~ 1 4 1 g のそれぞれに対応させて並べて表示する。生体構造画像構成部 4 m は、生体構造断層画像 1 4 2 上に、参照ライン 1 4 3 a ~ 1 4 3 g を重畳表示してもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

前記超音波診断装置は、前記表示部に表示された参照画像上で、断面位置を示す少なくとも一つ以上の参照ラインの位置の設定を行う第三の操作部を更に備え、

前記超音波画像構成部及び前記生体構造画像構成部は、前記参照ラインを含み前記参照画像に直交する断面の超音波断層画像及び生体構造断層画像を構成し、

前記表示部は、同一の参照ラインの位置で構成された前記超音波断層画像及び前記生体構造断層画像を並べて表示する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか一つに記載の超音波診断装置。